



PRINCESS CRUISES

<プレスリリース>

2014年1月28日

プリンセス・クルーズの「オードリー・ヘプバーン特別メニュー」 ヘプバーンが楽しんだ味を再現し、 日本発着クルーズの船上で提供

世界的なクルーズ会社であるプリンセス・クルーズは、同社の客船、初代スター・プリンセス命名式の際に、映画女優オードリー・ヘプバーンのために用意された特別メニューを、今年4月から日本発着クルーズに就航するダイヤモンド・プリンセスとサン・プリンセスの船上において提供することを、本日発表しました。

映画「ローマの休日」のアン王女役など、プリンセスのイメージが似合う女優オードリー・ヘプバーンは、1989年3月23日、初代スター・プリンセスの名付け親として命名式に出席した。多くの観衆に見守られながら客船の命名を行ったあと、ヘプバーンはスター・プリンセスに乗船し、カリブ海への処女航海を前に、特別な祝いのディナーを楽しんだ。

プリンセス・クルーズは、このヘプバーンに提供した特別メニューを再現し、今年4月から開始するダイヤモンド・プリンセスとサン・プリンセスの日本発着クルーズの船上において提供することを決定した。「オードリー・ヘプバーン特別メニュー」は、エレガントなフレンチ・イタリアンの全6品で構成される。ダイヤモンド・プリンセス、サン・プリンセスともに、日本発着の各クルーズで1度、すべての乗客がメイン・ダイニングで楽しむことができる。

マスターシェフ、アルフレード・マルツィは次のように述べている。

「プリンセス・クルーズの客船には、さまざまなセレブリティの方々にご乗船いただきましたが、オードリー・ヘプバーンによる命名式と処女航海は、同船した乗務員とゲストにとって、思い出深い素晴らしい出来事でした。今も日本をはじめ世界中で人々に愛され続けている、オードリー・ヘプバーンのために特別に考案された本メニューを、日本発着クルーズで日本の皆様に楽しんでいただければ嬉しいです。」

株式会社カーニバル・ジャパン代表取締役、木島榮子は次のように話している。

「今年プリンセス・クルーズで休暇を楽しまれる日本の皆様に、お楽しみいただける要素がまたひとつ増えました。プリンセス・クルーズは日本市場に注力しており、ダイヤモンド・プリンセスへの日本式大浴場設置や、ダイヤモンド・プリンセスとサン・プリンセスへの寿司レストランの設置、ハンドシャワーの導入、日本語による各種サービスなど、日本の皆様にプリンセス・クルーズでの旅をより一層お楽しみいただくべく、努力を重ねています。」

日本では TVCM や新聞などの広告キャンペーンにオードリー・ヘプバーンを起用しており、一般の皆様からの認知も向上しています。2014年日本発着クルーズにご乗船いただくお客様には、オードリー・ヘプバーン特別メニューをお楽しみいただき、プリンセス・クルーズの旅のご感想をぜひ周りの方々にお話しいただきたいと思っております。プリンセス・クルーズは昨年に引き続き今年も、日本のクルーズ市場の活性化に貢献いたします。」



PRINCESS CRUISES

【オードリー・ヘプバーン特別メニュー】

温かいサーモンの燻製

青葱のブルブランソース ブリオッシュトーストのせ



ミックス・グリーンリーフと鶉の卵のサラダ

メープルとホワイトバルサミコ・ドレッシング



4種チーズのトルテリーニ・パスタ

ホワイトクリームソース



ブルゴーニュ産マール酒のシャーベット



牛テンダーロイン・フィレ肉 森のキノコのデミグラスソース

新鮮な季節の野菜とポテトコロケ添え



バニラ・パンナタコッタとレモン・チーズケーキ

グランマルニエ風味のミックスベリー添え

コーヒーまたは紅茶、オードリーのプティ・フール

今年の日本発着クルーズには、2013年から2年連続就航となるサン・プリンセスに加え、日本で建造されたダイヤモンド・プリンセスも投入。横浜、神戸、そして外国客船初となる小樽の3港を母港として展開する。4月から10月にかけて、ダイヤモンド・プリンセスとサン・プリンセスは、2隻で合計42航海(チャーター含む)、5日間から11日間の日程の10コースで、日本20港と海外(韓国、台湾、ロシア)6港を訪れる。

以上

お問い合わせは 株式会社カーニバル・ジャパンまで TEL:03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>